

日本共産党の申し入れへの回答 祝電、表敬訪問、参加、寄附なしというけれど ぞろぞろ出てくる緊密な統一協会と市長の関係

2021年
碧南市市役所
表敬訪問の様子

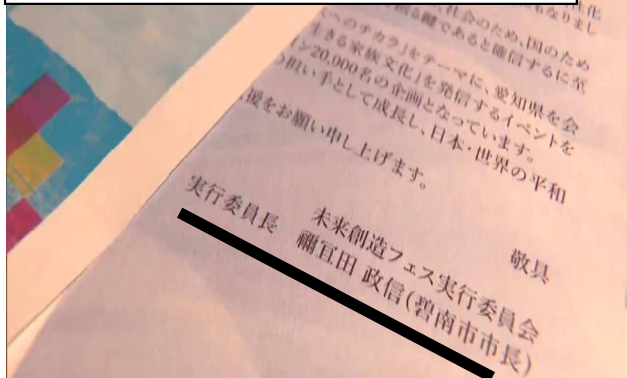
2021、統一協会の表敬訪問。禰宜田市長の横断幕まで用意している
☐ 2021.12.5のポートメッセ名古屋のイベントで実行委員長に（HPより）



ところが、統一協会のネット上で2021年碧南市表敬訪問の写真が掲載。「禰宜田碧南市長表敬訪問」と書かれた横断幕まで用意されてピースロードの面々を市長が迎えてい

表敬訪問・平和大使協議
会議長・実行委員長も

不自然な「実績なし」の回答
9月市議会が各地で開かれ、日本共産党の追及で「祝賀文4件を送った」（刈谷市長）「祝電4件」安城市長「ピースロードの参加」（南知多町長・議長）「統一協会から寄附」（一宮市）など各地で、首長や自治体と統一協会との関係が明らかになっています。日本共産党は8月26日禰宜田市長あてに「全庁調査を行うべき」との申し入れを行いました。9月5日に市長から「い



今年2/27にも
さらに今年に入ってから、2月27日には富山県平和大使協議会総会で、壇上発言。《写真下》
5月8日には、東愛知平和大使協議会共同議長としてあいさつ。これには黒川美克高浜市議、岩月裕碧南市議が参加。石井拓衆議院議員、吉岡初浩高浜市長から祝電。岡崎市議3名、西尾市議5名が参加している

2021.12/5 実行委員長
「未来創造フェシバル2021」はYSP中日本ピースロードが主催しています。YSPは「世界平和と青年学生連合」のことで学生を中心とする統一教会の関連団体です。ポートメッセ名古屋で12月5日に行われたイベントで、「禰宜田政信（碧南市長）」実行委員長をしていました。《写真真ん中》

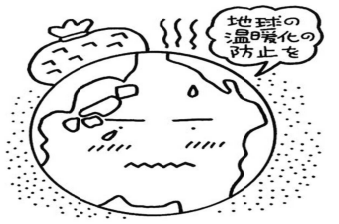
2022 東愛知安保大会 レポート 石原悟 2022.5.28
「アジアと日本の平和と安全を守る、激動の2022年 日本の行くべき道」と題して5月8日、岡崎市民会館P山会館にて、松本康・平和大使協議会事務総長による基調講演会と平和大使任命式が執り行われました。
「ウクライナ情勢から学ぶ事は、普遍的価値（自由・民主主義・基本的人権・法の支配・市場経済）を共有する諸国との連携強化をし、覇権・全体・独裁主義である中国共産党政権に対する現実的な緊急対応をすべきである」との結論であります。「自分の国は自分で守る」国力と、普通の国としての愛国的自覚が国民に必要です。
碧海5市からは禰宜田政信・碧南市長が東愛知平和大使協議会共同議長として挨拶され、黒川美克・高浜市議と岩月裕・碧南市議が参加されました。右井拓衆議院議員と吉岡初浩・高浜市長からは祝電が届けられました。西尾市からは5名の議員が参加され、岡崎市からは3名の議員参加でした。（全参加者は300名程）閉会の辞では青山周平・衆議院議員が国会活動報告を兼ね、LGBT問題について言及されました。平和大使任命式では内田康宏・前岡崎市長と福祉事業主夫妻が任命され、今後の更なる活躍が期待されます。



オウムの次は統一協会
統一協会（世界平和統一家庭連合）は、靈感商法、集団結婚などで甚大な被害を出している反社会的カルト集団。統一協会と表裏一体の政治組織「国際勝共連合」をつくり「反共と反動」の先兵を務めてきたこととです。莫大な私財をばく奪し韓国本部に送る反日組織と市長という公職にありながら密接な関係はダメです。入信しているのか脱退するのか明確に市民に示すべきです。あくまで統一協会に執着し開き直るのならば、市長の職を辞すべきではないでしょうか。



これでは地球を守れない 碧南市の気候危機打開対策



近隣市の気候危機打開施策と目標					
自治体	更新時期	期間	2030目標	2050目標	ゼロカーボンシティ
碧南市	2021.3	10年	15.70%	80%	手もあげられない
豊田市	2022.3	8年間4年で中間見直し	50%	100%	ゼロカーボンシティに
安城市	2021	10年	46%	100%	2022.5月に削減目標見直し、ゼロカーボンシティに。三河安城駅周辺を「脱炭素先行地域」に申請
西尾市	2022.3	10年	43.80%	100%	今年ゼロカーボンシティに
国			46%	100%	
愛知県	2022年度中		-46%	100%	今年度中に国に合わせるため検討中
日本共産党			60%以上	100%	2030戦略で省エネで電気使用量半減。再エネで達成

県も削減目標見直しへ
猛暑、豪雨の夏が終わろうとしています。気候危機打開は、緊急の課題となっています。昨年、今年、安城市、西尾市、豊田市などが環境計画の見直し改善を行い、国基準の2030年46%。2050年100%に合わせています。愛知県も、今見直し作業に入っていて、今年度中には国目標に変更をする予定です。

碧南市は15.7%で恥ずかしくないのか

碧南市は、2021年度の環境基本計画改定の時、日本共産党山口はるみ議員が、低い削減目標を指摘しました。市は5年後に見直すとしています。

豊田市の再エネ目標		
	2020現状	2024目標
太陽光発電・太陽熱利用システムを設置した戸数	3,979戸	7,000戸以上
碧南市	2020実績	2021実績
太陽光発電・蓄電池、ヘムス他	155件	155件
新築住宅補助		238戸
新築住宅に対する再エネ設置率		65%

新築住宅すべてに省エネ再エネを
碧南市は「新築住宅設置補助」を238戸が受けています。この住宅に省エネ再エネを全戸に設置すれば、4年で1000戸が自家発電、自家消費となり消費となります。このような本気の二酸化炭素削減を市民も業者も行っては充分あります。国の本気構えが今後の8年間に左右します。

す。しかし2030年まであと8年、まったなしです。9月議会で、山口はるみ議員は、削減目標の見直し、毎年の目標と達成状況の確認を求めます。実効性ある施策の裏付けが必要で豊田市の例も示しながら実施を求めます。
ZEHH(ゼッチ)NEEB(ゼブ)の普及を
ZEHH (net zero energy house)・ZEB (net zero energy building)とは建物の断熱性能などの向上と高効率設備の導入により、室内の環境の質を維持し省エネ化を進め、再生可能エネルギーで一次エネルギーの収支をゼロにする住宅(ゼッチ)ビル(ゼブ)のことです。豊田市では10KW〜200KW未満の再生エネルギー設置事業所に固定資産税償却分を3年間半額にします。またスマート・ゼロハウス(豊田市独自)に固定資産税の減免をしています。碧南市でも実現させましょう。



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員

山口はるみ

☎42-8940

三度山町 2-70-4



市議会議員

岡本守正

☎41-5357

笹山町 6-29



市民運動部長

磯貝明彦

☎48-2718

若松町 3-253

午前11時〜12時
東浦町6-17
ピアゴ碧南東店
(日進小学校南)

**戦争法廃止改憲許すな
へきなん 19行動**

憲法違反の「国葬」中止に!



岸田政権による安倍元首相の「国葬」強行に反対する世論が日をおうごとに高まっています。国民にたいして、なにひとつまともな説明ができないのは、「国葬」が明白に憲法に違反しているからです。

日本共産党

「法の下での平等」「思想・良心の自由」
——憲法をふみにじることが許されない

なぜ、「国葬」なのか。「在任期間最長」というだけで、首相はまともな説明ができません。時の内閣の打算で特定の個人を特別扱いすることは、憲法14条「法の下での平等」に反します。

首相が言う「敬意と弔意を国全体であらわす」とは結局、「国民全体」に弔意を強要することです。実際、府省庁では、「国葬」当日の弔旗掲揚、葬儀中の黙とうが強要されようとしています。憲法19条「思想及び良心の自由」をふみにじるものであり、絶対許しません。

「国葬」総額 17億円近く?!
過半数こえる反対世論に逆らい血税投入

法的根拠のない「国葬」を「閣議決定」で強行することは、「法の支配」を「人の支配」に代える暴挙です。「儀式」そのものに2.5億円。警備費や接遇費など総額17億円近くを税金から支出すると政府が表明。物

価高騰とコロナ対策にはまともな対策もない一方で、国会で時間をとった議論もせずに、国民の血税を使うことなどまともな政府のやることではありません。

安保法制の強行、「森友・加計・桜」、統一協会との癒着…。「安倍政治」への「敬意」の表明を、ばく大な税金使って強要することなど許されません。日本共産党は、「国葬」強行に反対です。